



# 山本かよこの

山本香代子

# にここ通信



心のふれあう江東区、あなたのそばに“開かれた区政を”

平成 22 年 4 月号

- 昭和 36 年 3 月 18 日 深川冬木生まれ A 型 魚座
- 昭和 42 年 双葉幼稚園卒園
- 昭和 48 年 江東区立明治小学校卒業
- 昭和 51 年 江東区立深川第二中学校卒業
- 昭和 54 年 都立東高等学校卒業
- 平成 11 年 区議会議員 初当選（現在 3 期目）
- 地域活動 / 深川消防団第 6 分団部長

発行：山本かよこ事務所 TEL・FAX:03-3630-2278

〒135-0041 東京都江東区冬木21番22号 山勇館 10 階

✉ info@yamakayo.com URL:http://yamakayo.com(✉・URL 変わりました)

江東区議会 自由民主党・無所属クラブ 副幹事長(無所属)

討議資料

花冷えの日が多かったように感じられる今年の春。春の嵐にも耐えた桜は、例年より長い期間楽しむことができ、入学式まで散らずに待っていてくれました。これから暖かい春らしい季節がやって来ます。

さて、江東区議会では、2月24日に開会された平成22年第1回区議会定例会において、当初の会期を1日延長し、36日間の日程で3月31日に閉会いたしました。

今定例会では、本会議において区政一般質問をいたしました。



## 平成 22 年 第 1 回 区議会定例会のご報告

(平成 22 年 2 月 24 日～3 月 31 日)



大綱 3 点について質問させていただきました。

質問等の本会議の映像はインターネットでご覧いただけますので是非ご利用ください。

【江東区議会ホームページ】<http://www.city.koto.lg.jp/ac/gikai/>

【江東区議会インターネット中継】<http://www.koto-city.stream.jfit.co.jp/>



### 質 問

### 回 答

#### 1. 本区の障害者施策の推進について

- ①国の新制度策定の動きに対する区の対応について地域生活支援事業の利用料の負担をどのように考えているのか。
- ②障害者就労の取り組みや考え方について江東区での障害者の就労に向けた今後の取り組みについて、区の見解は？
- ③平成 22 年度の新規事業の有効性等について緊急一時保護事業や重度障害者等在宅リハビリテーション支援モデル事業は、どのような取り組みなのか。
- ④障害者多機能型入所施設の課題について高齢な障害者や親亡き後の支援としての施設をどのように考えているのか。

#### 【区長】

- ①本区でも区市町村税非課税の方々には利用料を無料にする考えです。
- ②「るーくる」の従事者増や新規施設の開設等、新規採用・増員に今後も取り組み、就労生活支援センターを本庁舎内に移し、支援体制の強化を図ります。
- ③障害者の常態維持・改善を目指すため、またご家族の安心安全を確保するために医療的ケアや看護師の派遣などを行います。
- ④候補地の決定、事業者の選定等課題がありますが、今後地元と調整を図りながら、平成 27 年度の竣工を目指しています。

質 問	回 答
<p><b>2. 本区のスポーツ振興について</b></p> <p>①体育協会に加盟していないニュースポーツへの支援等、今後の取り組みについて ニュースポーツに対しどのような支援を考えているのか？</p> <p>②障害者スポーツの振興について 障害者の方々がスポーツを楽しめる機会を増やすべきではないか。</p> <p>③第 30 回江東シーサイドマラソン大会について 江東区の江東シーサイドマラソンの構想をどのように描いているのか。</p>	<p><b>【地域振興部長】</b></p> <p>①体育指導委員の活動の中で競技体験の機会を創出し、またペタンク・マレットゴルフなど体育協会加盟団体以外の団体に対しても区長杯を設置する等支援していきます。</p> <p>②健康スポーツ公社や障害者福祉担当と連携を図りながら、事業内容を工夫し、拡充に向け取り組んでいきます。</p> <p>③安全性を確保しながらコースの一部変更や申込み方法等を検討しており、第 30 回記念大会を契機にスポーツ振興に資する大会になるよう努力します。</p>
<p><b>3. 本区の観光事業について</b></p> <p>①今後の観光振興には観光ガイドを養成する等、人材育成が重要であると認識しているが、区はどのように考えているのか。</p> <p>②魅力ある観光コースを作成するためコースを区民からの公募により選定してはどうか。</p>	<p><b>【地域振興部長】</b></p> <p>①これまでのガイド活動を継続しながら、今後は人材の育成と活用の仕組みを整える予定であり、観光客が楽しめるよう取り組む考えです。</p> <p>②観光コースは本区の観光資源を有機的に結びつけるものであり、ルートのみでなく区民の観光に関する意見も聴き、事業の推進に向け、広く PR していきます。</p>

## 未来の江東区づくりに向けた 平成22年度の「区民生活重視型予算」可決

3月2日から3月8日に開会されました平成22年度予算審査特別委員会では、委員長を務め、区長提案のとおり賛成多数により可決しました。

平成22年度の予算編成は、一昨年秋から始まった経済危機による景気の低迷が長引き、雇用不安や所得の減少等、想定を超える都税収入の大幅な減少により厳しい編成となりました。本区の区税収入においても、納税義務者の増によって前年度比0.8%の微増を見込んでいるものの、特別区交付金は、調整税等の財源である市町村民税法人分の大幅な減収により、当初予算では、前年度比7.5%減の449億円となり、本区の歳入に大きく影響を及ぼしました。

しかしながら、このような厳しい財政状況下にあっても、区では、これまでコツコツと積み上げてきた様々な基金の中から、当初予算において、平成17年度以来5年ぶりに財政調整基金より75億円を繰り入れ、サービスが低下することなく、引き続き、安定的な区民サービスが提供できるよう、維持・向上に向けた積極的な予算編成となりました。

さらに、平成22年度は、10カ年の新長期計画のスタートの年、未来の江東区づくりに向けた第一歩として、一般会計では、1,527億3,100万円で前年度比3.5%の増、過去最大規模の予算編成となり、重点プロジェクトである南部地域における総合病院の整備や緑化・温暖化対策の推進、保育園・学校及び高齢者・障害者関連施設の整備、南北交通の促進を図るため、地下鉄8号線延伸に向けた取り組みなどの新たな行政需要に加え、現下の経済情勢を反映し、中小企業融資の充実、緊急雇用対策の継続や扶助費の増額などの緊急課題にも対応する「区民生活重視型予算」となりました。





# 新年度予算の主な事業

～新たな取り組みとして、2つの基金を創設～

## みどり・温暖化対策基金創設 .....2億 3,236万円

### ●事業内容

「清掃負担の公平」による負担調整額を活用し、緑化や温暖化対策等、区民への還元となる事業に活用します。

#### 【緑化事業】

小・中学校の校庭や公園の芝生化  
区立施設の屋上・壁面緑化の推進 等

#### 【温暖化対策】

太陽光発電や省エネ設備導入に対する助成  
区立施設における自然エネルギーの活用 等

### ●清掃負担の公平

新たな仕組みが合意され、清掃工場を持たない区はごみ量に応じ、焼却処理する区へ負担金を支払うことになりました。

## 平成 25 年度中の開院を目指して

「女性と子どもにやさしい病院」を目指して  
豊洲地区に総合病院を整備 277万円



「平成22年度江東区プレス発表資料」より

## 待機児童ゼロ作戦展開中

認可保育園の整備・開設 9億 6,329万円

### <事業内容>

マンション内への整備、民間活力の導入、区有財産の有効活用など、様々な手法により認可保育園や認定こども園を積極的に整備するとともに、平成 22 年度中に開設予定の私立保育所 2 園（定員 138 人）、区内初となる既存園の分園 1 園（定員増 40 人）の運営費の補助や公設民営保育所 2 園（定員 200 人）を、指定管理者制度により運営します。

## 地下鉄 8 号線建設基金 .....5億円

### ●事業内容

地下鉄 8 号線の建設及び関連付帯設備に要する経費に充てるため基金を設置します。

江東、墨田、葛飾、松戸の 3 区 1 市からなる「地下鉄 8・11 号線促進連絡協議会」で合意形成された豊洲駅～住吉駅間（約 5.2km）整備の早期事業化を目指します。



「平成22年度江東区プレス発表資料」より

### <事業内容>

- 豊洲地区に、産科、小児科、周産期医療や急性期医療に対応する総合病院を整備します。
- 新病院の開業に向け、運営方法や地域との連携のあり方などについて医師会等と協議・検討を行っていきます。

### ■私立保育所

【4月開設】 トイボックス富岡園（富岡2丁目/定員78人）

【7月開設】 アンジェリカ亀戸保育園（亀戸4丁目/定員60人）

### ■分園

【6月開設】 シンフォニア保育園分園（豊洲2丁目/定員増40人）

### ■公設民営保育所

【4月開設】 千田保育園（千田/定員100人）

指定管理者：社会福祉法人 みわの会

【10月開設】 南砂さくら保育園（南砂6丁目/定員100人）

指定管理者：社会福祉法人 東京児童協会

## 区内初 小規模多機能型施設開設へ

1億7,131万円

### <事業内容>

区内で初めての小規模多機能型居宅介護施設を、認知症高齢者グループホームと併設して3カ所整備します。

【平成22年7月開設予定】

①（仮称）亀戸あやめ（亀戸2丁目）

②（仮称）あいり（大島3丁目）

【平成22年10月開設予定】

③（仮称）クレール東京うみべ（海辺）

### ★小規模多機能型居宅介護施設

「通い」を中心に、要介護者の様態や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、《自分の家》の感覚でサービスが受けられます。

### ★認知症高齢者グループホーム

認知症の状態にある高齢者が、少人数で介護スタッフとともに食事の支度や洗濯など、共同生活をしながら介護を受ける施設です。

平成23年4月開設

## 23区初の新しいタイプの施設

### 高齢者とこどもの総合施設「グランチャ東雲」

22年度 21億4,664万円  
用地費を含む総事業費 46億4,752万円

<事業内容>高齢者やこどもが世代を超えて集い、憩い、交流できる施設を認定こども園と合築して整備します。

### <特色>

★高齢者とこどもの交流広場や多目的に利用できるレクリエーションルーム、介護予防・健康づくりのための運動スペースやプール等を併設する新しいタイプの施設です。

★高齢者の集いやイベントなどのほか、講習者や発表会にも利用できます。

★プール等は、夜間や休日に一般成人等も利用できるよう有効活用します。

<施設規模>東雲1丁目9番（3,000㎡）

地上7階 延床面積（約6,540㎡）

## 一体型校舎で小中連携教育を推進

### 有明小学校・有明中学校を新設 （平成23年4月開校）

22年度 36億8,346万円  
総事業費 53億176万円

<事業内容>人口増が見込まれる有明地区で、児童・生徒が安心して通学できるように、区立の有明小学校と有明中学校を新設し、平成23年4月に開校します。

7月からスタート

## ヒブワクチン接種費用の助成開始

～接種対象は2カ月以上5歳未満の乳幼児～

3,002万円

<事業内容>ヒブワクチン接種費用を助成します。

### <助成内容>

【対象】生後2カ月から5歳未満の乳幼児

※接種・申請時に区民であること

【金額】1回あたり接種費用8,000円程度のうち、区が半額を助成します。

【接種回数】接種開始時期により異なります。

生後2カ月～7カ月未満／4回、

7カ月～12カ月未満／3回、満1歳～5歳未満／1回

7月からスタート

## 最新の情報をすべての区民の方にお届けします

### 区報・選挙公報・区議会だよりを全戸に配布

1億5,362万円

### <事業内容>

●区報全号と区議会だよりをポスティングにより、全世帯及び事業所に配布します。

●選挙公報はポスティングにより、全世帯に配布します。

<効果>最大の行政情報媒体である区報をはじめ、有権者が投票の際に判断材料とする選挙公報、区議会の活動を紹介する区議会だよりを全世帯に配布することで、区の情報を公平・平等に伝えることができます。

国政では、あちらこちらで新党が結成され、政界再編の動きが高まっていますが、普天間の問題等、外交や防衛そして景気対策は・・・政権交代後、国の平成22年度予算編成では、国民生活に安心と活力をもたらす施策を充実させた「いのちを守る予算」として、一般会計において過去最大となる増額予算、一方で、歳入不足を補う新規国債発行額を大幅に増額し、当初予算時点では、戦後初めて、国債発行額が税収を上回るなど、公債依存度がさらに高まり、国の財政は極めて厳しい状況に直面していると考えられます。これから先、日本はどうなっていくのでしょうか。政局のゆくえより、日本の将来が不安です。

私のできることは、限られていますが、皆さんの期待に応えられるよう区議会議員として、身近で深刻な問題に対し全力で取り組むとともに、与えられた課題に向かって、さらなる努力をいたします。